

キダチアロエ 本当の実力!!

著書 「キダチアロエの薬効」 から抜粋!!

(現代書林)

民間療養の世界では、まるで万病に効くかのようにいわれているアロエだが、いったいどこまでが本当なのだろう。

アロエ専門の研究者、医師、実際にアロエを食べたり飲んでる人取材し、アロエの本当の実力を徹底的に探ってみた。

アロエ研究はどこまで進んでいるか

やけど

研究状況

キダチアロエに含まれるカルボキシペプチターゼという酵素が炎症や痛みの原因となるブラジキニンという物質を分解する。外用より内服の方が効果的だとか。

アレルギー体質

研究状況

アロエの持つ抗炎症作用や保湿作用、免疫力を強める作用などが働いたと考えられる。また、静岡大学が試験管内の実験でアレルギー反応の抑制を確認している。

便秘

研究状況

以前から下剤として用いられてきたが、その効能が静岡県立大学医学部石井康子さんのラットを使った動物実験で解明された。苦みの主成分であるバルバロインがぜん動運動を起こしてくれ、大腸内の水分量と粘液の分泌量を増大させて腸の動きを活発にするという。

糖尿病

研究状況

藤田保健衛生大学生薬研究塾の別府秀彦さんらは、マウスによる動物実験でキダチアロエに血糖値降下作用のあることを確認した。どの物質が効くかは今後のテーマだが、有効成分が葉皮と多肉質にそれぞれあり、双方が相乗的に作用しているのではないかという。

胆石

研究状況

藤田保健衛生大学衛生学部の長村洋一さんはマウスを使った動物実験で、アロエの葉皮に多くある物質がコレステロール胆石の生成を抑える(予防)ことを確認した。

ガン

研究状況

和歌山医大の湯川進さんは、肝臓ガンの予防と進行を抑えるためにアロエエキスを利用。藤田保健衛生大学生薬研究塾の新保寛さんらと、愛知県ガンセンター薬剤部の斎藤寛子さんはそれぞれアロエに含まれている物質に抗ガン性があることを確認した。

肝臓病

研究状況

和歌山医大の湯川進さんは、肝硬変患者にアロエエキスを1~3年間投与し自覚症状や肝機能の改善傾向を確認。また藤田保健衛生大学生薬研究塾の川井薫さんはアロエが肝臓の解毒作用を促進して飲酒による悪酔いを防ぐ働きがあると確認した。

高血圧

研究状況

降圧効果のあることが外国での実験で確認されている。アロインという成分が体中のプロスタグランジンE2という物質の主合成を促進し、その結果、末梢血管が拡張して血圧が下がるのだという。